



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月31日

上場会社名 トランス・コスモス株式会社  
コード番号 9715 URL <https://www.trans-cosmos.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役共同社長 (氏名) 牟田 正明  
代表取締役共同社長 (氏名) 神谷 健志

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員本社管理統括 (氏名) 野口 誠  
経理財務本部 担当 TEL 050-1748-0265

四半期報告書提出予定日 2023年8月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	88,947	4.6	2,222	72.0	3,240	61.7	1,468	71.5
2023年3月期第1四半期	93,256	13.7	7,924	39.2	8,465	52.8	5,159	32.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 716百万円 ( %) 2023年3月期第1四半期 28百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第1四半期	39.19	36.68
2023年3月期第1四半期	124.41	117.36

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期第1四半期	195,907	108,490	50.8	2,655.95
2023年3月期	193,842	112,381	53.4	2,761.61

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 99,526百万円 2023年3月期 103,486百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期		0.00		117.00	117.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の配当予想は未定であります。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	48,794,046 株	2023年3月期	48,794,046 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	11,320,992 株	2023年3月期	11,320,911 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	37,473,119 株	2023年3月期1Q	41,473,521 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は2023年7月31日(月)に当社ウェブサイトに掲載します。

【添付資料】

資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、経済社会活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しています。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格上昇、欧米諸国での政策金利の引き上げや、それに伴う為替市場への影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループが展開するサービスを取り巻く環境は、生成AI（ジェネレーティブAI）やメタバースなど、進展するデジタル技術や長引く人手不足などを背景に、引き続き、アウトソーシングサービスに対する底堅い需要が続いています。特に、コロナ禍で再認識されたデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進やカスタマーエクスペリエンス（CX）の向上に向けた課題解決につながるサービスへのニーズが高まっています。

このような状況の中、当社グループは、社会インフラとして積極的に展開してきた政府・自治体・民間企業が推進する新型コロナウイルス感染症対策に関連する業務支援が縮小したことによる業績への影響はあったものの、引き続き、拡大するサービス需要に向けて、お客様企業の経営、事業の変革を支援するCXサービス・BPOサービスを積極的に展開しました。また、変化する企業ニーズに対応したサービスや、進化するデジタル技術を活用したサービスモデルなどの創出・展開に向けた取り組みを推進しました。

具体的には、メタバースを活用した取り組みとして、株式会社ブレインバースと共同で、VR（仮想現実）およびAR（拡張現実）技術を用いたバーチャル空間とVR接客サービスを、株式会社ブレインスリープに提供開始しました。最新の睡眠医学に基づいたプロダクト群の展示と、プロダクトに関する接客サービスを提供することにより、Web上でリアル店舗を訪れたような臨場感でショッピングを体験することが可能になります。

生成AIを活用した取り組みとしては、まず、顧客接点のデジタルフロントをすべてカバーする「TCI-DXサービス」の強化へ向けて、膨大なデータを高い精度で要約することや、自然な会話で応答することが可能なOpenAI社のChatGPTを活用したサービスの開発を推進しました。ChatGPTに代表される生成AIを効率よく、安心・安全に活用できるよう、独自のチューニング、学習手法、運用技術の開発を行い、デジタルコンタクトセンターサービスおよびデジタルマーケティングサービスの高度化を実現します。また、自社で提供しているサポートデスク支援ツール「Quick Support Cloud」に、生成AIを活用した「Quick Support Cloud with GAI」のサービス提供を開始しました。これにより、サポートデスク利用者が求めている回答を均一な品質で素早く提供することが可能となり、また、教師データ生成による人的工数削減、記載内容の安定化、処理時間の短縮も実現し、お客様企業の業務最適化を実現します。

その他、ITに関する要件定義、開発、運用保守、データ活用までワンストップで提供するBPOセンター大阪御堂筋を開設しました。上流工程まで対応するIT拠点の開設により、加速するDX支援を強化します。また、バーチャルオフィスツールを導入し、ロケーションフリーな働き方を提供します。

海外においては、中国で最先端の技術を用いたソフトウェア開発を行う天津霆客計算機信息技术有限公司（英語社名：TianJin Tinkers Computer Information Technology Co., Ltd.）と資本業務提携を締結しました。トランスコスモスグループの大規模な開発力と運用力、TINKERSの最先端の技術力を融合し、お客様企業に最先端の技術を用いたソフトウェア開発を提供します。また、フィリピンでのオペレーションサービスにおいて、高まる多言語対応のニーズに対応するための多言語人材の採用強化に向け、ChatGPTの高い言語翻訳機能とText to Speechツールを統合したツールを独自に開発しました。まずは中国語人材の採用を強化し、今後、その他言語にも対応範囲を広げ、グローバル規模での活用を目指します。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、コロナ関連業務の反動減の影響などで、売上高88,947百万円となり前年同期比4.6%の減収となりました。利益につきましては、単体サービスの売上高の減少や各セグメントにおける収益性の低下により、営業利益は2,222百万円となり前年同期比72.0%の減益、経常利益は3,240百万円となり前年同期比61.7%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,468百万円となり前年同期比71.5%の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービス事業等につきましては、コロナ関連業務以外のサービスは、堅調な売上成長を継続するも、コロナ関連業務の反動減により、売上高は58,072百万円と前年同期比8.7%の減収となり、セグメント利益は1,110百万円と前年同期比82.1%の減益となりました。

## (国内関係会社)

国内関係会社につきましては、一部の上場子会社は売上が減少したものの、コンサルティングサービスやBPOサービス関連の子会社の売上増加などにより、売上高は10,773百万円と前年同期比2.0%の増収となりました。一方、損益については、上場子会社およびそのグループ会社の収益性が低下した影響などにより、セグメント利益は722百万円と前年同期比36.4%の減益となりました。

## (海外関係会社)

海外関係会社につきましては、韓国・ASEAN各子会社における売上増加などにより、売上高は23,083百万円と前年同期比4.6%の増収となりました。一方、損益については、韓国子会社において一部の高収益案件の終了や、人件費上昇などにより、セグメント利益は389百万円と前年同期比31.4%の減益となりました。

なお、セグメント利益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,065百万円増加し、195,907百万円となりました。このうち流動資産につきましては、3,319百万円増加し、138,743百万円となりました。この主な要因は、前期末の売上債権の回収や借入金の増加で、「現金及び預金」が増加したことによるものであります。固定資産につきましては、1,254百万円減少し、57,164百万円となりました。これは、保有上場株式の時価評価により「投資有価証券」が減少したことなどによるものであります。

負債の部につきましては、当社における「長期借入金」の増加などにより前連結会計年度末に比べて5,955百万円増加し、87,416百万円となりました。

純資産の部につきましては、3,890百万円減少し、108,490百万円となり、自己資本比率は50.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期については、引き続きお客様企業の売上拡大・コスト最適化といったニーズに対し、デジタルトランスフォーメーションパートナーとしてお客様企業の経営、事業の変革を支援するCXサービス・BPOサービスを積極的に展開し、さらにアジア市場を中心としたグローバルで事業展開を加速させていくことで、持続的な事業成長を実現することを目指します。

なお、当社グループの事業は、あらゆる業種・業界のお客様との取引で成り立っており、変化の激しい経済環境の中、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。よって、当社グループの2024年3月期連結業績予想については、合理的な算定ができないため記載しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	51,176	58,366
受取手形、売掛金及び契約資産	70,985	63,260
商品及び製品	4,825	6,118
仕掛品	196	277
貯蔵品	92	101
その他	8,444	10,916
貸倒引当金	△297	△297
流動資産合計	135,423	138,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,652	6,536
工具、器具及び備品（純額）	7,779	7,395
土地	839	836
その他（純額）	1,279	1,203
有形固定資産合計	16,550	15,971
無形固定資産		
のれん	604	558
ソフトウェア	3,135	3,088
その他	783	853
無形固定資産合計	4,523	4,500
投資その他の資産		
投資有価証券	8,111	6,965
関係会社株式	10,718	10,930
関係会社出資金	1,442	1,501
繰延税金資産	5,305	5,679
差入保証金	10,456	10,423
その他	1,644	1,524
貸倒引当金	△333	△333
投資その他の資産合計	37,345	36,692
固定資産合計	58,419	57,164
資産合計	193,842	195,907

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	16,230	16,984
短期借入金	1,629	1,584
1年内償還予定の社債	79	79
1年内返済予定の長期借入金	2,060	2,069
未払金	7,785	7,080
未払費用	18,918	18,840
未払法人税等	4,849	2,586
未払消費税等	4,601	5,690
賞与引当金	6,233	8,367
その他	4,046	5,583
流動負債合計	66,433	68,866
固定負債		
社債	194	191
転換社債型新株予約権付社債	10,074	10,069
長期借入金	2,222	6,249
退職給付に係る負債	402	391
その他	2,133	1,648
固定負債合計	15,027	18,550
負債合計	81,461	87,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	19,330	19,331
利益剰余金	77,739	74,823
自己株式	△28,567	△28,567
株主資本合計	97,568	94,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,452	1,688
為替換算調整勘定	3,464	3,183
その他の包括利益累計額合計	5,917	4,872
新株予約権	3	3
非支配株主持分	8,892	8,961
純資産合計	112,381	108,490
負債純資産合計	193,842	195,907

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	93,256	88,947
売上原価	71,998	72,980
売上総利益	21,258	15,967
販売費及び一般管理費	13,333	13,744
営業利益	7,924	2,222
営業外収益		
受取利息	30	53
受取配当金	29	9
持分法による投資利益	—	142
為替差益	468	754
その他	109	128
営業外収益合計	638	1,088
営業外費用		
支払利息	20	27
持分法による投資損失	42	—
その他	35	43
営業外費用合計	98	70
経常利益	8,465	3,240
特別利益		
投資有価証券売却益	—	154
持分変動利益	4	34
企業立地助成金等	21	—
その他	0	17
特別利益合計	25	206
特別損失		
減損損失	4	19
投資有価証券評価損	1	131
持分変動損失	137	—
その他	1	5
特別損失合計	145	157
税金等調整前四半期純利益	8,344	3,289
法人税、住民税及び事業税	3,615	2,143
法人税等調整額	△768	△614
法人税等合計	2,847	1,529
四半期純利益	5,497	1,760
非支配株主に帰属する四半期純利益	338	291
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,159	1,468



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	5,497	1,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,388	△765
為替換算調整勘定	1,063	△424
持分法適用会社に対する持分相当額	798	146
その他の包括利益合計	△5,526	△1,043
四半期包括利益	△28	716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△376	423
非支配株主に係る四半期包括利益	348	292

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	国内 関係会社	海外 関係会社	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,330	8,867	21,058	93,256	—	93,256
セグメント間の内部 売上高または振替高	243	1,696	1,018	2,958	△2,958	—
計	63,574	10,564	22,076	96,215	△2,958	93,256
セグメント利益	6,217	1,136	567	7,920	4	7,924

(注) 1. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	国内 関係会社	海外 関係会社	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,832	9,090	22,024	88,947	—	88,947
セグメント間の内部 売上高または振替高	239	1,683	1,058	2,981	△2,981	—
計	58,072	10,773	23,083	91,928	△2,981	88,947
セグメント利益	1,110	722	389	2,221	0	2,222

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	単体サービス	国内関係会社	海外関係会社	
日本	62,576	8,856	1,133	72,565
韓国	—	—	9,085	9,085
中国	27	—	6,492	6,519
東南アジア	511	0	2,988	3,500
その他	216	10	1,358	1,585
顧客との契約から生じる収益	63,330	8,867	21,058	93,256
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	63,330	8,867	21,058	93,256

(注) 顧客との契約から生じる収益は、顧客の所在地を基礎として、国または地域に分解しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	単体サービス	国内関係会社	海外関係会社	
日本	57,064	9,088	1,212	67,365
韓国	—	—	9,697	9,697
中国	50	0	6,295	6,346
東南アジア	466	0	3,553	4,019
その他	251	0	1,266	1,517
顧客との契約から生じる収益	57,832	9,090	22,024	88,947
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	57,832	9,090	22,024	88,947

(注) 顧客との契約から生じる収益は、顧客の所在地を基礎として、国または地域に分解しております。